

授業コード	JP12310010	開講年度・学期	2021年度後期
科目授業名	商法（企業組織法）		
英語科目授業名	Commercial Law		
科目ナンバー	JAEPR7706	必修・選択	必修
単位数	4単位	授業形態	講義
担当教員氏名 （代表含む）	小柿 徳武		
科目の主題	会社法（総則を含む）の基本的事項を学ぶ		
授業の到達目標	商法の中でも、特に重要な会社法の分野について、基本的事項を修得することを目標とする。 条文や重要判例を素材として、制度（およびその趣旨）を徹底的に理解することにより、2年次以後での演習科目等の受講において必要な知識を修得することを到達目標とする。		
授業内容・授業計画 ①	<p>講義においては、予習用レジュメにそって、基礎的概念および重要判例等の確認を行う。受講生の知識定着をはかるために、授業中に、適宜、質疑応答を利用するとともに、必要に応じて、（主として）短答式の小テストを行う。受講生は、事前に十分な予習を行うことが求められる。</p> <p>第1回：商法総論、会社法総論 第2回：機関総論、株主の会社に対する権利と義務 第3～5回：株主総会 第6～10回：取締役・取締役会 第11回：監査役・監査役会 第12回：会計参与・指名委員会設置会社・監査等委員会設置会社 第13～14回：計算 第15～17回：株式 第18～19回：設立 第20～22回：資金調達 第23～24回：組織再編・事業譲渡など 第25回：持分会社・会社法まとめ 第26回：商号 第27回：商業使用人・代理商 第28回：商業登記 第29回：営業譲渡 第30回：期末試験</p>		
事前・事後学習 の内容	授業の約1週間前に、次回のレジュメをウェブクラスにアップロードする。必ず事前に内容を確認し、予習を行った上で、授業に臨むこと。また、授業後は、内容を整理し、関連する条文等について再確認して、知識の定着を図ること。		
評価方法	絶対評価 期末に課す試験の成績を80%、小テストの成績を10%、質問や討論など講義への参加状況を10%の割合で評価する。		
受講生へのコメント	会社法分野の理解を深めるためには、経済ニュースにより多く接することが有益である。普段から、新聞等で企業に関する事件に関心を向けるようにして欲しい。		

教材	<p>会社法分野については、テキストとして、伊藤靖史ほか『会社法』（有斐閣）を使用する。このほか、参考となる初学者向けのテキストとして、中東正文ほか『会社法』（有斐閣）を挙げる。なお、令和元年の会社法改正に対応した最新版の公刊状況によっては変更する可能性もある。判例集として、岩原紳作＝神作裕之＝藤田友敬編『会社法判例百選』を使用する。</p> <p>商法総則分野については、予習用のテキストの一つとして、落合誠一＝大塚龍児＝山下友信『商法Ⅰ－総則・商行為』を指定し、判例集として、神作裕之＝藤田友敬編『商法判例百選』を使用する。</p>
----	---